



有宵会だより

第113号
発行所
特定非営利活動法人
岳岳館・有宵会
編集 広報部
松戸市新松戸1-6

九星と易断による 十月・十一月の運勢

気学では戌の三碧
十月八日（寒露）節入

天道		
破	2	7
ア	1	3
	6	8
生氣		

天道		
破	1	6
ア	9	2
	5	7
生氣		

九月の世相

大型の台風十四号は、九州地方の上陸で弱まり、害が少なく胸をなで下ろした次第です。

ロシアのプーチン氏は核兵器の使用を辞さない、ハッタリではないと強弁を述べ騒いでいます。

核兵器使用は起きるか、得卦は地天泰の九三

平にして陂（かたむ）

かざる、と爻辞は傾くとし、泰が否に近づくので、今後は際どく危機が迫るでしょう。現在、年内の期間は泰の九三で核使用はありません。泰の平和を破ることはなし。

次の話題はコロナ・インフル同時流行の心配です。厚労省や識者の懸念があるという。

コロナ・インフルは、得卦は巽為風の九五です。爻辞は貞吉。悔亡无初有終とあり軽症です。

初めなく終りあり、と示すのは流感処理の対応ができる判断できます。発熱外来は二病紛らわし

く、大忙しとなります。

一白水星の人の運勢

十月筮—沢風大過上六
十一月筮—地風升九二

十月は用事多く忙しく内容は骨折れる。大事な問題は停滞気味。仕事は頭を押さえられ新規失敗。金銭の揉め事避ける。気疲れストレスを溜めない。

十一月は過去の信頼重んじる。交際は誤解が伴うが修復を待つ。仕事は仕上げが勝負。散財が怖い。風邪や流感対策を。

二黒土星の人の運勢
十月筮—山風蠱九二
十一月筮—火雷噬嗑上九

十月は表向き変わらないが伸び悩む。内部に不安材料あり改善を急ぐ。どこでも年長者を立てる。仕事は長引くが成就。金運無理をせず。足腰用心。

十一月は相変わらなく忙しく半分は成り行き任せ。仕事は安定。家事負担がかかる。対人面で気遣い続く。視力と歯の点検を。

三碧木星の人の運勢

十月筮—地風升上六
十一月筮—地山謙六二

十月は一段落が着くので骨休み。仕事は根を張る努力と地道にいく。家庭は平穏和やか。外の交際吟味第一。情愛は隠さずに表す。胃腸に優しく。

十一月は堅実運。本業大事に愛情注ぐ。努力が実を結び吉。文書類を整理その他の未処理を急ぐ。家庭に喜び体調変わらず。

四緑木星の人の運勢

十月筮—山地剥六四
十一月筮—艮為山上九

十月は多事を抱えて負担。仕事は甘くなりやすい。決めた方針を貫くのが有益。新しい出会いはい将来に役立つ。修理や金銭出超あり。体調維持。

十一月は平穏さが戻り明るい。のんびりするのにも良い。身内や住居の問題が話題となる。噂や干渉聞き流す。食欲十分。

五黄土星の人の運勢

十月筮—水風井九二
十一月筮—地水師九二

十月、物事の進捗はゆっくり。下旬に好転。軽い

仕事でミスあり。慎重に処理。私的な会話での口難注意。思いがけない二つの事で喜ぶ。のどと歯を守る。

十一月は強気と独断を避けて無事。仕事は複雑なので再確認。金運は無駄を省く。家族や友人が温かい。足腰が重い。

六白金星の人の運勢

十月筮—天雷无妄九五
十一月筮—坤為地六二

十月はいろいろな問題が続く苦勞を伴う。成り行き任せでうまく収まる。公私は後始末に追われる。人生の厳しさを知る一面が深い情となる。腰用心。

十一月の運氣は持ち直して安定運。努力が成果となり才能の開花で喜び。心の平安を得るとき。血圧や歯に用心。

七赤金星の人の運勢

十月筮—風山漸六四
十一月筮—火山旅六二

十月は順調そうでも油断が出やすい。手配や予定のミスに注意。仕事を抱えて見落としや計算勘定を確実に処理。派手気味に散財。視力低下あり。

十一月は慎重運。地味

にいくのが無事。あれこれと迷わず我が道を歩む。仕事と金運は支障が出やすい。肩腰の筋肉痛。

八白土星の人の運勢

十月筮—沢山咸九三
十一月筮—雷風恒九四

十月は気の緩みが出るので日常生活気をつける。今の立場や分を知れば不満はなし。交際は仲良く和を保つ。親子の間は良好。足腰が疲れる。

十一月は自重運。調子に乗ってやり過ぎると疲れる。口論すれば後悔し、強気に出ると頭打ち注意。安全運転と胃腸に用心。

九紫火星の人の運勢

十月筮—風地觀六三
十一月筮—水風井上六

十月は平穏無事のようでも気苦勞が多い。謙虚に一步下がっていれば無難。過去にこだわらないで旧友を大事に。仕事と財布はしっかり握る。食欲あり。

十一月は運氣上昇に転ずるので期待感。先手を取りリードする。誠意と信用でチャンスをつくり前進。脊柱と筋目を守る。

七月有宵会報告

金原玄周

令和四年七月三十日
(土) 足立区勤労福祉会館二階集会室2にて第三回有宵会定期総会が開催され、令和三年度の活動経過報告並びに令和四年度の活動計画案が報告されました。総会後には、河野有泉先生による「算命学」についてのご講演、福田有宵先生による「姓名判断」「人相」のご講演をいただきました。

福田先生ご挨拶

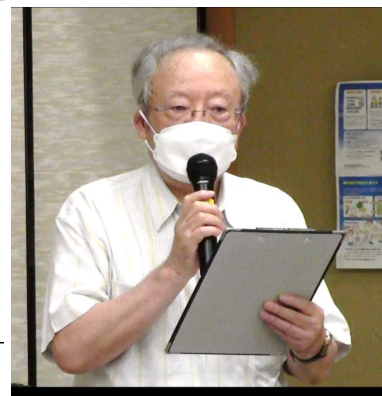
皆様こんにちは。NPO法人として十三回目の総会となります。これまで順調に歩んでくることができました。有宵会の



活動は、NPO法人になる前から含めると、大体二十六年半となります。あと三年少々で三十周年を迎えることができます。月日を積み重ねた結果と思います。

活動は、NPO法人になる前から含めると、大体二十六年半となります。あと三年少々で三十周年を迎えることができます。月日を積み重ねた結果と思います。

今までの活動で誇らしいことといえば、会報を休みなく発行することができたことです。これは十七年にわたり佐藤宗眩先生が渾身のパワーで進めてくれていたお陰です。有宵会だよりのトップページの月鑑の原稿は、有宵会の会合の前日や前々日にお渡ししております。本当であれば一週間前に提出すればよいのですが、いざ原稿を書くと思うとできなかったんですね。佐藤先生への感謝の気持ちは、会報の百号記念として開催するはずだった日比谷の松本楼でお伝えするはずでしたが、新型コロナウイルスの流行により開催できませんでした。佐藤先生にその場で気持ち



を伝えることができず、非常に残念です。佐藤先生をサポートされた奥様も含め、本当にありがとうございました。今回の総会では、役員の改選があり、4名の方が新たに参加されます。今後とも会の名に恥じない内容で進めていきたいと思っております。今後とも皆様のご協力が必要です。よろしくお願いいたします。

河野有泉先生ご講義 「算命学について」

算命学ももとは神仙思想が土台となっており、本来は門外不出の術だったのですが、日本で知られるきっかけは、算命学の伝承者である呉仁和先生が日本に亡命し、高尾義政先生が学んだこ

とが始まりとなりました。高尾先生は、「学問とは大衆に根付いて初めて真の学問になる」という思想をもっており、昭和四十年代になってから一般公開したことで、広く知られるようになりました。算命学は日本では新しい占術ということになります。

算命学の考えでは、宇宙にあるものが全て五行と陰陽で成り立っています。物事は空間と時間の中で流れており、空間は十干、時間は十二支で表されます。十干は精神や靈魂など形のないもので、十二支は行動や肉体を表し、陰陽でバランスをとっています。

陰陽について、陽はポジティブなイメージがありますが、ネガティブなイメージの陰はなぜあるのでしょうか。太陽と月、夫と妻といったセットであるという考え方もありますが、陰は幸せになるための次のステップとして存在しているのではないかと私は思うのです。

算命学では、良い悪いが存在しない、決めつけないということに感銘を受けました。物事の価値は時代と社会が決めていくという考え方です。日本では同じ生年月日の人が約十二万人いる計算になりますが、それぞれの運勢がなぜ違うかという、取り巻く環境と人間関係によって変わってくる、と考えるからです。

なお、四柱推命では生まれ時間まで採用しておりますが、算命学の考えでは時間には陰陽がないという考えから判断の材料には使用しておりません。

さて算命学は幅広く知識を学び、奥深く探求する学問ですので、短い時間の中で全てをお話することはとても難しいのですが、この講演では算命学を初めて知る人のために役立つ話として、算命学にお



る五行について、特に人を自然に当てはめて説明することについてお話しします。

算命学で運勢をみる場合、生年月日の「日」がどの十干を持っているかが重要となります。ご存知の通り、十干は甲乙(木性)、丙丁(火性)、戊己(土性)、庚辛(金性)、壬癸(水性)と、木火土金水の五行に陰陽を組み合わせたものです。私の場合、日干支が「己未(つちのとひつじ)」なので、私は「陰」の「土」の人ということになります。

なお、私の生年月日を干支で表すと、生年は「乙酉」、生月は「戊寅」、生日は「己未」です。算



命学では、年干（乙）は父親、目上の人、先生を示します。月干（戊）は社会、子供、年下の兄弟、部下、日干（己）は自分の心、年支（酉）は母親、仕事、友達、年上の兄弟、月支（寅）は家系の流れ、日支（未）は配偶者、補佐役を表します。

十干（陰陽五行）を自然に当てはめたときの意味合い

【甲木Ⅱ陽の木性】

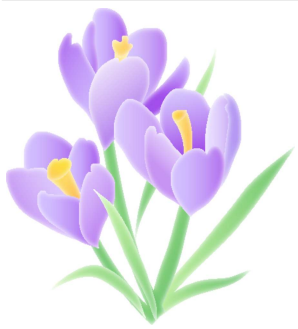
守備本能守りの本能があると言われております。甲の木は杉とか檜のようなまっすぐな木、まっすぐなものイメージしてください。まっすぐに立っている木ですので、実直であり、マイペース、目標をまっすぐ見据える人です。ただ、まっすぐで高い木なので、挫折したときはポキッと折れたままで立ち直りにくいとい

う欠点があります。このように木をイメージしながら人間を見てもらえればよいと思います。また、高いところから見下ろすので上から目線になりやすので注意が必要です。更ふうにみていきます。更に、命式に「水性」が多いと、木は水の上に浮かびますから漂流しやすい、つまり、フラフラしやすい、つまり、フワフワしやすい、つまり、その他、「金性」が多いと、「金性」は斧とか刀ですから、木が削られおがくずになっ

は葉が全て落ちて寂しいイメージですが春に向けて力を蓄える人です。

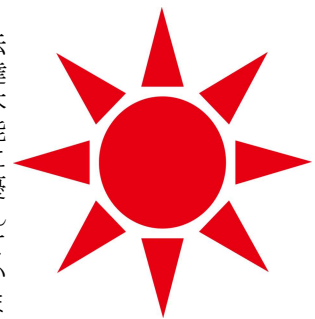
【乙木Ⅱ陰の木性】

草花を表します。一輪の花では寂しいですが、花は集まるととても綺麗です。つまり、乙の人は集団行動すること、力、風雨に耐えますので忍耐強さ、柔軟性があります。集まることで力を発揮します。集まること、自分の年月に陽木の甲があると陰陽セットになります。陽の甲木は異性となりますので、乙木の女性の中に甲木があると近くに頼れる男性がいるということになります。一方、乙木の女性



よいかと思えます。よう。

【丙火Ⅱ陽の火性】



伝達本能に優れています。丙火は太陽なので決まったルートで動く、つまり自分のペースで活動します。太陽はまた物事を育てる力があります。ただ、表側には明るければ裏側には影がある、表が暖かければ裏側が寒いというように、二面性があります。表立っては明るいのですが、裏では冷静で用心深いといったところもありです。夏月の火はギラギラしていることから、おせっかいで鬱陶しい様子。秋月とか冬月の太陽は、暖かくてありがたい存在です。秋月からの冬月の太陽は水面に映っている」と美しいので海外志向の人が多くとみま

【丁火Ⅱ陰の火性】

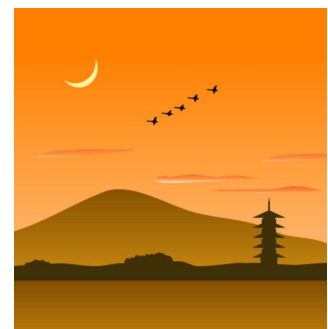
ろうそく、焚火、電灯、



溶鉱炉の火、マグマの火などです。感性がすごい人で、芸術家が多いと思います。燃えている火は暗闇の中で有難い存在です。不安を持った人が寄ってきやすい特徴があります。なお、丁火の方は燃え出すと消えにくいことから、執念深く焼き尽くすところがあります。熱しやすく冷めやすい傾向もあるでしょう。太陽のように全員を照らすわけではなく、限られた範囲を照らすという特徴もあります。丁火は、燃えるためには木が必要ですから、自分の生年月日の中に甲木があると非常にありがたいです。例えば父親の位置に甲木があれば父が役に立ってくれとみま。なお、春月の生まれはおとなしい感じ。夏月生まれは、夏の焚火をイメージして頂ければわかりますが、火が多すぎるイメージです。秋冬月生まれの人は

温かくて有難い存在です。

【戊土Ⅱ陽の土性】



土性は人を引き付ける引力があります。戊土は山が代表的なイメージです。どっしりしていて包容力があり、風雨を食い止める力があります。山は動かないので芯は頑固でしょう。春夏月生まれの山は人気があります。冬月生まれですと、エベレストのイメージで近寄りたいたいが、遠くからみると神々しさがあります。寄ってくる人が少ないので、友達が少ないことが多いようです。冬生まれの山の子供に「友達を多く持ちなさい」とアドバイスすると本人がきついはず。自分の生年月日と違うことを要求すると矛盾が生じてしまいます。山は水を多く含むと崩れてしまいます。

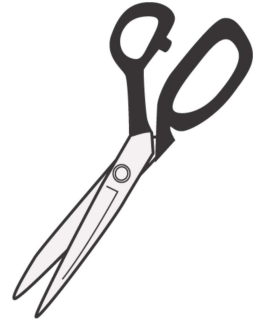
自分の生年月日に水が多い場合、年運や十年運に水性が巡ると体調が崩れるやすいので注意が必要です。土性は水と火が多いとつらいです。

【己土Ⅱ陰の土性】



地面、田園、平地、地球そのものです。人間が住む場所ということは、生活の要の場所という意味でもあります。そのためか、自己中心的な人が多い傾向があるようです。適性としては、田園が植物を育てるイメージから、人を育てることが得意でしょう。先生を適職とする人が多いように思いますが、なかなかしぶといです。華やかさに欠けるところはあるでしょう。土性は水性が多いと土が流されてしまう、火性が多いとパサパサに乾燥するので注意が必要です。

【庚金Ⅱ陽の金性】



刃、のこぎり、鉄鉱石のイメージですので、攻撃的で戦う星です。切り倒して新しいものを作り出すので創業者に向いています。庚金の母親は土生金と土性です。庚金が親元にてぬくぬくとしていると才能が開発しませんが、原石のままです。刀は刀鍛冶が火でたたいて鍛えますよね。それと同じで世に出て鍛えられなくてはいいけません。南部鉄の風鈴は風にあおられるといい音がでますよね。人に置き換えると反応がよいということです。仕掛けられたら反応がよく行動的です。

【辛金Ⅱ陰の金性】

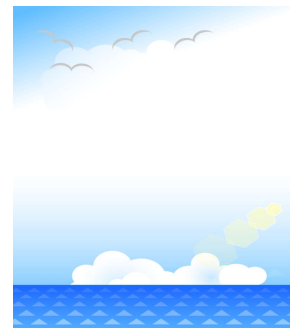
砂利、小石、宝石を表します。磨かれることで輝くことができます。親元から離れて鍛えられたほうがよいと見ます。辛

金はお姫様や王子様を表す星なので、物腰柔らかかきで気品があります。しかし内面は固いので、外見と内面では違うということがあります。「自分は選ばれた人」という特別意識が強い人でもありません。宝石は箱の中でなく、人に飾られて初めてその価値が出ます。人を輝かすために存在するということが自分グスターということでなく補佐役などが向いています。出処進退をわきまえた人で、水性があることで磨かれ輝くことができます。火性があるとダイヤモンドが火であぶられるイメージですので、火との相性はよくありません。



【壬水Ⅱ陽の水性】

水性は習得能力といつて、何か学びたいという気持ち強いです。壬水は海や大きな川のイメー



ジですのでスケールが大きいです。海は静かな時はよいですが、荒れたときは怖いですね。動きがないと淀んでしまいますので壬の人は動いていたほうがよいです。見識を実践しながら身に着けることが大事です。海の中には、ゴミがあれば美しい景色もあります。そうみると清濁併せ持った人が多いです。春夏月生まれば、憩いの人で和やかな雰囲気を持っています。秋月生まれの人にはロマンチックな人、冬月生まれの人には厳しく孤独で寂しい人です。

【癸水Ⅱ陰の水性】

雨、雪、みぞれの水です。日常に欠かせない重要なもので、雨水は地下水となっても役に立ちます。癸水の人は皆の知らないところで役に立ちます。物事を一途に行いま

す。精神的にも強く粘り強い人です。垂直思考の人です。春生まれの人は雪解けの水なので勢いがあります。夏生まれはスコール後の爽やかさがあります。秋生まれは純粹です。冬生まれは人寄せ付けないところがあり、社会の裏側で密かに行動します。悪くいうと裏社会のボスのイメージがあります。



算命学には天中殺というものもあります。十干と十二支を甲子・甲戌・甲申・甲午・甲辰・甲寅から十個ずつ組み合わせると、十干と組み合わせない十二支が二つ残ります。

この残りの二つが戌亥、申酉、午未、辰巳、寅卯、子丑の天中殺の十二支となります。

天中殺の時には積極的に出てはいけなさとされま

す。グループで行った場合、自分が仕切らなければよいのです。

天の助けがない時は非常に不安なので、どうしても動きたくなってしまう。しかし、知っていれば自重することができますし、とにかく欲をかかないことです。天中殺のときは神仏のお参りするのがとてよいです。

また、弱い人の面倒をみる、勉強をすることもよいです。なお、天中殺の時に手術をしなくてはならないことがあります。が、そういう場合は、お医者さんの言う通りにするとよいでしょう。

天中殺のときは、受け身でいる人には影響は出ません。主婦の方が天中殺の場合は、自分自身よりご主人にその影響が移行することがあります。

私の父は算命学で観ると強い運勢を持っていたのですが、私が九歳の時に亡くなっています。父は犠牲運で、「河野さんを生かすために亡くなっている」と算命学の先生から聞き、私は直ぐにお墓参りに行って、父に感

謝の気持ち伝えました。父が亡くなったことは不幸なことではあるのですが、これによって私が生かされたと思うと、単純に不幸ではないなと思います。

強い運勢を持っている子供の場合、親が不運にあわないと、その子は育たないですね。大事に育てられるとダメで、強い運を消化するために逆に病気になるってしまうことがあります。

私の日干の己土の隣の月干は戊土です。

月干は兄弟を表します。兄弟間で運のバランスをとるようなことがあります。私の兄が成功している時は、私はパツとしていないことが実際にあります。そういう命式をもっている場合は、兄弟で同じこと、例えば同じ習い事などはさせないようにしたらよいと思います。

あと、私は生年月日の干支の中に「土」が3つあります。また「水」がありません。土が多すぎるうえに水がないということは、私は弁当箱の中にあるガチガチの粘土と

同じ状態なので融通が効かない人とみるわけです。こういうことがわかると、物事に融通を効かせるようにしなくてはいけないと自分で考えるようになります。私の場合、命式の中に「土」が多いですが、その場合は、「木剋土」というふうな気を剋すようにしていきます。

果が出る前に予知するわけですから責任が重いわけですね。命卜相のうちト占である周易はこれからのことを予知しなくてはなりません。人間は神や仏の存在を超えることはできないので、当たりもあれば外れもあります。

確率を高めるのが我々の生きる道なのです。つねにチャレンジしていかなくてはなりません。

今年七月八日、安倍元総理が山上徹也により銃撃されました。

平成二十六年七月二十日には「やまゆり園」で植松聖による殺傷事件、平成二十年六月八日の秋葉原の加藤智大による無差別殺傷事件がありました。

福田有宵先生ご講義

「姓名判断」

占いの研究には先付けと後付けがあります。

先付けとは、これから先のこと、将来のこと先に見通すこと、予知をすることです。

後付けとは、姓名判断のように、結果に対して占いの切り口でどうしてこのようになったか考察することです。

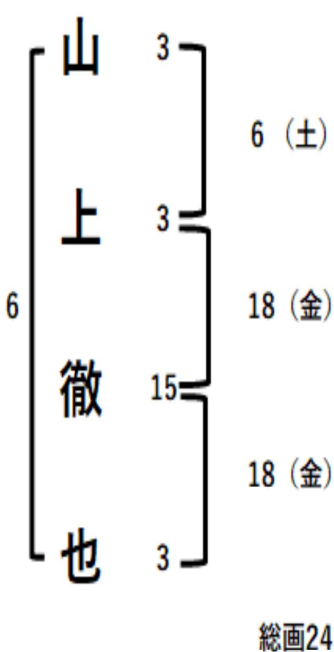
常に我々は後付けで研究して学ぶことになりま

す。先付けの場合は、結果が出る前に予知するわけですから責任が重いわけですね。命卜相のうちト占である周易はこれからのことを予知しなくてはなりません。人間は神や仏の存在を超えることはできないので、当たりもあれば外れもあります。

確率を高めるのが我々の生きる道なのです。つねにチャレンジしていかなくてはなりません。

今年七月八日、安倍元総理が山上徹也により銃撃されました。

平成二十六年七月二十日には「やまゆり園」で植松聖による殺傷事件、平成二十年六月八日の秋葉原の加藤智大による無差別殺傷事件がありました。



①山上哲也
初年運十八画吉数、人格十八画吉数、外格六画、総画二十四画吉数。姓名を三才でみますと、天「土」、人「金」、地

その場合、本人の親が彼に頑張りに応じていかなくてはならない。三という数は因縁であると捉えないと今回の事件の意

味が説明できません。三という数をプラス要素でみる場合、マイナス要素でみる場合の両方を学ばないと鋭い答えが出せません。三という数霊の枠の中で成長してきたということが考えられます。

のででしょうか？
占いはどのような立場で受け止められるのでしょうか。
彼らが生まれたときは、このような事件を起こすとは思いませんよね。「生まれたときの」「事件を起こした時の結果」と内容を分けて判断をすること、後付けの方法でも研究の余地が十分にあります。

全体が吉名でも事件を起こすことがあります。どこにそのポイントがあるのでしょうか。

十八画は努力をする数です。十七に対して十八は陰の数です。守りを固める、我慢ができます。一方で三は火を表して爆発力があり、能力と才能を与えられています。一体どこで狂ってしまったのでしょうか？
説明は容易ではありませんね。地格十八画、人格十八画と、幼少期から青年時代も同じように成長しました。社会的な状況の中での成長ではなく、個人の成長はあっても、三という数霊の数に囚われていたのではないのでしょうか。
三の数を持つ人は出世

がしたい、世の中で自分の名前を留めたいという意思がありますが、たいはいできません。

だからといって凶行に及んでいいわけがありません。犯人には精神異常の兆候があるのでしょうか？ それ以外の要素はあるのでしょうか？

なお、研究課題として姓名の四文字がすべて三画、三画、十五画、三画と、奇数と陽の数が四つあります。

②加藤智大

読み方は地格から入ります。地格十五画吉、人格三十三画吉、外格八画吉、総画四十一画吉、と画数は吉数の扱いとなり

ます。

一文字ずつでみると五画は陽○、二十一画は陽○、十二画は陰●、三画は陽○となり、「○○●○」の組み合わせは良く、問題はありません。

社会性は人格でみます。彼の場合、うまくやっていく器量もあります。自我が強く「俺が！」といった性格ですが、これが未熟であつたと思います。

三才が天格「土」人格「火」地格「土」、人格三十三画は朝日がどんどん昇るように出世する画数で、成功のため努力を惜しみません。総画四十一画もそれだけの人生を過ごせること

ができます。

どういうわけでこのような事件を起こしてしまったのでしょうか。

三十三画をもっている以上は相当な才能があり、唯我独尊を貫きますが、天格「土」、人格「火」、地格「土」で、「土」に囲まれた火は伸びきることでできません。

③植松聖

天格「水」、人格「木」、地格「火」、三才の配置はとてもよいです。

総画三十三画、外格十三画、地格十四画ですが、霊数を入れずに実数で見ると十三画です。悪いところが見当たりません。

なぜ、このような事件を起こしてしまったのでしょうか？

人の性格をみる場合、地格と人格の二つをみます。二次的な性格は人格をみます。

犯人の名前は「聖」です。一般の人の名前として「聖」は位があたりません。あえて遠慮しなくてはならない名前です。

この名前が人格の成長にどのように影響を与えたのでしょうか。

姓名判断では人生を変える重要なポイントをはかるのでしょうか？

これを今日は問題の提起とさせていただきます。

「人相学」

顔の中で五臓六腑がどこにあるのか。人相学と漢方では違いがあります。人相の中で鼻筋は胃腸を表します。鼻の根本は山根といえます。

準頭は大腸。鼻筋は背骨、鼻の中間のところは腰を表します。人相で山根は、漢方では心臓にあたります。

印堂は人相では重要なポイントで、相談者がきたときは、まず目をそこにもっていきます。

お客さんの目と目の間をみて色をみる。五行の五色、実は十二色あります。ピンク、桜色がもつともよく運がよいときです。マイナスに動いている時は灰色を示します。

黒はすぐには立ちあがれない、黒は腎臓が悪く血流も滞りがちです。毎日の運勢は印堂をみてくだ

さい。

漢方では鼻に肝と脾があります。人相では鼻は消化器系統です。胃から始まって十二指腸、大腸、直腸、肛門があります。

漢方で肝に該当する部分に人相で小腸に該当す

る部分がありますが、その関係性をとらえているかもしれません。

人相で小鼻は金甲といいい気管支から肺を表しますが、漢方では胃を表しています。

目の下の部分は漢方では、胆のうと小腸になる。人相学では臥蚕涙堂といいい、腎臓、泌尿器にあたります。

人相では目頭は胆のうで、肝機能の影響がでると目頭に発疹ができ、その部分だけ色の変化が表れたりします。

人相では耳は腎臓で、風邪をひくと泌尿器に影響を与え、小水が出すぎるようになり、垂珠（耳たぶの部分）が白くなつていたりします。ただ、色が赤でいるうちは大丈夫です。

漢方では、眉の部分は肺、額は咽喉とみるようですが、人相学ではそのようにはみません。これは五行に基づいて配置されているからです。

漢方と人相学との違いについて、どこに真偽があるかというところは研究課題になりますね。

阿部哲子様を悼む

福田有宵先生

いつも温和でゆったりした物腰は、戦前の台湾育ちのせいなのかと思っていました。穏やかな人柄で柔和な方でした。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

女学校時代の徒競走では足が速く負けなかったとたびたび自慢。戦時下では最も楽しい思い出であったことでしょう。数年前まで女学校時代の同窓会に参加、友人との交誼を大事にしていました。さて、三十年余の昔に、当時、日易連理事の阿部覚正先生が尋ねてこれ、哲子さんとの再婚の相談の件で、その後まさしく良縁成就でした。

御嶽山大教の教団で先達をして登拝を重ねていたり、教勢盛んなときに明治神宮の会館内、神道講演会の開催で中枢の用向きに努めていましたのが、阿部覚正先生でした。恩師の大熊茅楊先生が易談義の講演をなさった折、脇役の私も登壇。易の襟筈を演説し、四百名ほどの信徒の方々の前で行った

た襟筈は、希有なことで前代未聞の椿事であったことを思い出します。

有宵会の行事で神社仏閣への参拝では、数多く参加。流山市の諏訪神社、岩槻のお大師様のお参りは欠かさず参加して下さいました。敬神の念が深い方でした。

数年前に転倒、怪我をしてから安全のため外出を控えたこと。コロナ禍で遠慮なさり、専ら電話だけで神棚の話が最期でした。

享年九十二歳。
曹洞宗戒名は、秋月初覚信女。
伏し、唱名申し上げます。

合掌



【NPO通信】

◎賛助金ご報告

次のかたがたより、有宵会活動費への賛助を賜りました。

皆様からのご厚情に心から御礼申し上げます。

*令和四年八月十五日現在（敬称略・順不同）

堀内憲子 堀内大輔
佐藤宗眩 伊藤璃香
木村眞理子 阿部治
今中正美 今中陽子
美馬朋子 森本道子
淵上禮子 大橋初枝
福田有倭 八川林加
泰山林翰

*賛助金を銀行振り込みでお送り頂いた場合は掲載が遅れることがあります。何卒ご了承ください。

◎次回行事予定

◆九月二十五日（日）

第三十一回 三鷹国際交流フェスティバル
無料鑑定会

・場所…井の頭恩賜公園
西園競技場 文化交流広場及び野球場周辺

三年ぶりに対面型イベント（屋外）の開催が決



定いたしました。有宵会では佐藤宗眩先生主導のもと、出演者八名で無料鑑定会を開催いたします。皆様のご来場をお待ちいたしております。

*当日の天候や、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、直前に予定が変更となる場合がございます。

◆十二月二日（土）

足立区勤労福祉会館
「展覧会」 無料鑑定会
イベント

《出演者募集》

足立区勤労福祉会館様主催「展覧会」で無料鑑定会を開催いたします。

足立区の広報誌（十一月月上旬発行）でも、有宵会のイベント情報をご紹介します。つきま

【事務局だより】

【訃報】

阿部 哲子 様

本名 阿部 初枝 様

去る八月三十一日午前六時頃、ご逝去されました（享年九十二）

生前のご厚誼を深く感謝しご冥福をお祈りするとともに、謹んでご通知申し上げます。

◎次回例会のご案内

日時／令和四年

十一月二十三日（水）

*勤労感謝の日
午後一時～五時
会場／

足立区勤労福祉会

集会室一

講演会…福田有宵先生、ほか

*今後、例会およびイベント内容は、直前に変更・中止となる場合がございます。各種情報は、有宵会ホームページ等もご確認ください。

*有宵会LINE連絡網へのご登録をお勧めしております。

ご希望されるかたは、福田有倭先生ほか、事務

局メンバーまで。

《再掲》【要必読】会員

更新手続きについて

年会費…八千円

納入期限…十月末日まで

*事務処理の関係で、十月末迄にご継続有無の確認が出来ない場合は、会報誌等の送付をお止めいたします。また、ご退会後は、福田有宵先生のご許可がある場合を除き、有宵会の肩書を使用した活動はご遠慮ください。

■令和四年七月度例会参加者

七月度は、三十四名のかたがご参加されました。

（懇親会は中止）

十一月の有宵会は、会場の都合により「勤労感謝の日」に開催となります。皆様には、日程や会場の変更などでお手数をおかけしておりますが、ご予定合う時にはぜひご出席ください。

事務局 八川林加

